

中田商事 今が最大のチャンス

【三重】監査・処分基準の強化など、運送事業者に対する法令順守が叫ばれているが、「今が業界のイメージを变えられる最大のチャンス。また、『絶対条件』

を底上げできるタイミングだ」と語るのは、中田商事（伊賀市）の中田純一社長。利益だけを出せばいいという風潮ではなくなり、労働時間など守ることを守りな

中田社長



がら利益を出していかねばならぬ時代だからこそ「当然の流れとして荷主と

交渉できる」という。「特に、コンプライアンスを意識している経営者には、この転換期を好機ととらえ、お客との折衝にチャレンジして欲しい。継続経営していくための一つの過程であり、それができるかできないか、するかしないかが大きな分岐点となる」と指摘する。「そこを超えられたところ

に明るい未来が待っている気がする」。「業界の常識を非常識と思っただけじゃない」と言い切る同社長。「不満だけ言って行動を起こさないところは淘汰される」と、批判するだけなら状況は変わらないとし「足を引っ張るお客の仕事、法令を守れない仕事をしてはいけない。『うちの業界はこうだから』という考えの荷主と付き合わなくても、理解を示してくれる荷主と付き合い

ばいい」。従業員との給与を従来の歩合給から時間給制に変更するなど、積極的に労働環境の改善に取り組む同社。10月には、県の認証制度「男女がいきいきと働いている企業」に登録されたほか、11月にはエコモ財団主催の「平成25年度エコドライブ活動コンクール」で優れた取り組みが認められ、「優良活動認定証」を受賞した。

（中野秀一）